

項目	確認事項	届出内容	
基本情報	大学等名1(代表大学等)	いわき明星大学(2019年4月より医療創生大学)	
	大学等名1(代表大学等)※カナ	イワキメイセイダイガク (2019年4月よりイリヨウソウセイダイガク)	
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	北海道・東北地方	
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学	
	大学等名2(連携大学等)		
	大学等名2(連携大学等)学校所在地		
	大学等名2(連携大学等)学校種別		
	科目名	インターンシップ	
	学部・研究科等名	教養学部・地域教養学科	
	担当教職員名・役職	大嶋淳俊(教授)、山口憲二(教授)、田中美和(准教授)、金世煥(准教授)、半澤智祐(学生課長)	
基本情報	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	88	
	受入企業等数	31	
	受入企業等名	いわき市役所、スバリゾートハワイアンズ、八幡印刷(株)、スーパースポーツゼビオいわき店、(株)ドームユナイテッド、(株)いわき土地建物、(株)FSK、福島民報社、常磐パッケージ(株)、平商事(株)ヤマニ書房、福島銀行、ひまわり信用金庫、アイ・ケイ・ケイ(株) ララシャンスいわき、(株)いわき市民コミュニティ放送、(株)ヨークベニマル、(株)マルト、(株)ワンダーファーム、日立市役所、いわき明星大学、福島県商工信用組合、社会福祉法人 五彩会、(株)ワークマン、(株)サンシャインいわき、(有)サポート ポテの家、(株)コロワイド、いわき信用組合、社会福祉法人 ファミリーケアサービス、(株)仙台放送、(株)宮城テレビ、(株)東日本放送、損害保険ジャパン日本興亜(株)	
	インターンシップの分類	2.有給インターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
	要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
		1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
		1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
		1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	31社中1社は企業連携型(企業から大学に事前指導の講義に来学、企業が通勤バスで送迎)でかつ有給、15日間である。(日給4,550円)他の30社はいわき商工会議所から企業リストをいただき、大学が学生の希望とマッチングしている。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
2-2.該当するインターンシップの内容		1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している	
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)			
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		3年次	
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		1単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		キャリア教育の選択科目である。前期科目(10回授業、実習5日間の15コマ)であり、事前・事後の授業、実習の全ての過程を充たすことで1単位修得となる。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)		
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)		
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)		

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前指導として以下の9コマを実施1.ガイダンス2.インターンシップの意義、重要性3.マッチング、目標設定の個別面談4.インターンシップ用履歴書の書き方(志望理由、目標設定)5.身だしなみ講座6.履歴書の添削による個別指導7.ビジネスマナー8.地域の業界研究・企業研究9.実習先企業の業界・企業研究
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	身だしなみ講座には地元の紳士服量販店から社員が協力。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	上記の企業連携型インターンシップ先には、教員が手分けして3日間訪問し、課題解決のワークに同席してアドバイスをおこなう。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	以下の観点でルーブリックを活用している。1.授業態度2.履歴書3.インターンシップ実務、日誌
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習日は連続または総計で5日間を設定している。夏期休暇中で試験・補講が無い期日を大学側で提示し、大学と受入先と学生が相談した上で期日を決定している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生に実習報告レポートを提出させ、企業にも評価書(インターンシップ・フィードバックシート)を提出して貰っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.iwakimu.ac.jp/syllabus/pdf/CAR251.pdf">http://www.iwakimu.ac.jp/syllabus/pdf/CAR251.pdf</a>
問い合わせ先	大学等名	いわき明星大学(医療創生大学)
	担当部署名	学生課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	半澤 智祐
	電話番号	0246-29-7024
	メールアドレス	job@iwakimu.ac.jp